

## 事業者の生物多様性活動への 参入促進のための社会システムづくり

〒774-0016  
徳島県阿南市中林町東45番地1  
<http://www.hozen-tokushima.org/>



ひろげる助成

1年目

実践



阿波町における田んぼで調査方法を学ぶ

農家への認証制度の  
アンケート **130事業者**

検討会開催  
回数・参加人数 **11回・61人**

今年度計画の達成度 **70%**

活動の全体目標に対する  
達成度 **25%**

### 課題

生物多様性の劣化を抑制するには農地や企業活動での取組みの必要性が指摘されているが、外来生物の侵入、自然環境の改変が進み、その重要性の認識は充分浸透していない。

### 目標

生物多様性の価値を向上させる活動を実施する事業者などの取組みを応援するための社会的なシステムを構築し、物語として発信していく必要があると考えられる。

### 活動内容と成果

●アンケートとヒアリングを130人に実施し、現行の認証制度への関心の低さを抽出。●活動を推進するため検討会を11回開催し、のべ61人が参加した。またタスクフォース会議を10人参加で開催し、情報共有と方向性の確

## 苦労した点と工夫した点

### ■ 苦労した点

専門家や学識経験者が非常に多忙なため、日程調整に時間がとられた。

### ■ 工夫した点

外してはいけないキーパーソンの予定を最優先し、複数の選択肢を設定して調整を行った。



認を行った。●県下を踏査し市民調査20カ所の候補地を抽出し、小松島市での実施を決定。専門家と調査方法のアウトラインを作成した。●農地の物語化・価値化についてデザイナーと意見交換し、次年度の活動につなげた。●生物多様性活動推進フォーラムをSDGsの普及啓発も視野に実施し、87人が参加。



生物多様性活動推進フォーラムの会場風景

### 今後の展望

徳島県認定で生物多様性活動認証制度を構築し、農業事業者を中心に推進する。農地での生物多様性リーダー育成プログラムの実施と農家ヒアリングによる生物多様性評価と物語の価値化を行う。